

米沢市公共施設等総合管理計画のフォローアップについて

令和6年度公共施設台帳（R7. 3. 31 現在）の取りまとめを行い、平成27年度台帳を基に策定した米沢市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）のフォローアップを実施した。

1 延床面積の推移について（建物系施設）

表-1 延床面積の推移^{※1}

各年度の延べ床面積は小数点以下四捨五入しています。

年度	項目	施設数	延床面積 (㎡)	面積増減 ^{※2} (㎡)	指数 ^{※3} (%)	主な増減理由 ^{※4}
平成27年度 (基準年度)		128	321,923	-	100.0	
令和5年度		119	314,827	△7,096	97.8	森林体験交流センター譲渡 △689.86㎡ 東部小倉庫解体 △76.61㎡ 旧南原中綱木分校校舎一部解体 △78.52㎡ 吾妻町住宅8,9,11号棟解体 △513.20㎡ 通町住宅4号棟解体 △172.29㎡
令和6年度		118	313,563	△8,360	97.4	一中プール及びプール管理棟解体 △206.11㎡ 二中倉庫解体 △71.19㎡ 上郷児童センター解体 △632.65㎡ 通町住宅3号棟解体 △172.29㎡ 花沢町住宅解体 △170.38㎡
令和7年度 (※見込み)		121	329,404	7,481	102.3	広幡コミセン整備 +634.95㎡ 塩井コミセン整備 +684.83㎡ 南成中整備 +11,789.76㎡ 学校給食共同調理場整備 +2,021.79㎡ 旧米沢クリーンセンター譲受 +850.06㎡ 吾妻町団地10号棟解体 △140.42㎡

※¹ 企業会計（上下水道、病院）施設除く※³ 指数は平成27年度を100.0とした際の当該年度の値※² 面積増減は平成27年度との比較※⁴ 概ね50㎡以上の主な増減を記載

【参考1】平成28年度から令和4年度までの主な延床面積の増減について

H28	旧東部ひかり保育園解体 △413.73㎡
H29	道の駅米沢整備 +1620.88㎡、第三中寄宿舎解体 △298.22㎡
H30	寿山荘解体 △1,265.17㎡、雲雀が丘住宅9号棟解体 △229.68㎡
R1	上郷コミセン車庫・倉庫整備 +58.77㎡、旧山上コミセン解体 △535.56㎡、 旧関根小坂谷分校解体 △1,400.28㎡、花沢町住宅2号棟解体 △170.38㎡
R2	窪田コミセン整備 +707.62㎡、旧上郷コミセン解体△488.30㎡、道の駅米沢観光案内所事務室増設等 +41.86㎡、 旧関根小松原分校解体 △65.43㎡、旧第五中松原分校解体 △168.31㎡、旧南原中一部解体 △835.50㎡、 玉の木町住宅2号棟解体 △119.00㎡、愛宕倉庫取得 +127.56㎡
R3	旧窪田コミセン解体 △520.17㎡、田沢コミセン整備 621.96㎡、 旧田沢コミセン解体 △511.20㎡、南原コミセン整備 704.25㎡、 旧林業センター譲渡 △379.98㎡、庁舎整備 10,494.43㎡、玉の木町住宅1号棟解体 △148.33㎡
R4	旧南原コミセン解体 △598.68㎡、旧関小高湯分校解体 △112.29㎡、旧関小綱木分校教員住宅解体 △93.56㎡、 旧庁舎解体 △11,997.30㎡、玉の木町住宅3号棟解体 △171.24㎡、通町住宅1号棟解体 △172.29㎡

【参考2】企業会計（上下水道、病院）施設を含めた延床面積の推移について

年度	項目	施設数	延床面積 (㎡)	指数 (%)
H27 (基準年度)		141	368,689	100.0
R5		131	383,021	103.9
R6		130	358,980	97.4

企業会計（上下水道、病院）施設の主な延床面積の増減

H28	医師住宅・レジデントハウス一部解体 △228.2㎡
R3	市立病院外来棟の一部解体 △2,016.00㎡、院内保育所解体 △293.14㎡
R5	新市立病院整備 +23,965.56㎡
R6	旧市立病院解体 △22,776.99㎡

2 維持管理コストの推移について（建物系施設）

表-2 維持管理コスト（施設維持管理費＋事業運営費－収入）の推移^{※5}

年度	項目	維持管理コスト (千円)	コスト増減 ^{※6※7} (千円)	指数 ^{※8} (%)	主な増減内訳 ^{※9} (●：増加 ▼：減少)	
平成25～27年度	平均値	2,423,167	-	100		
令和5年度		3,014,321	591,154 [△163,269]	124	廃止施設 ^{※10}	▼学校施設（旧学校利用施設を含む廃校分） △96,838千円 ▼敬師児童センター △23,112千円 ▼寿山荘 △21,372千円 ▼上郷児童センター △21,813千円
					新設施設 ^{※10}	●ナセBA 193,834千円（市民ギャラリー 27,076千円、図書館 166,758千円） ●道の駅米沢 24,420千円
					その他 （新規事業、 特殊要因等）	●子育て世代活動支援センター 91,439千円（屋内遊戯施設整備） ●学校施設（一中） 45,899千円（一中プール・プール管理棟のアスベスト除去及び建具解体等の増） ●吾妻町住宅 18,336千円（8,9,11号棟解体等の増）
令和6年度		3,163,199	740,032 [△161,072]	131	廃止施設 ^{※10}	▼学校施設（旧学校利用施設を含む廃校分） △96,755千円 ▼敬師児童センター △23,112千円 ▼寿山荘 △21,372千円 ●上郷児童センター 15,567千円（解体等の増） ▼窪田児童センター △27,190千円
					新設施設 ^{※10}	●ナセBA 201,129千円（市民ギャラリー 28,319千円、図書館 172,810千円） ●道の駅米沢 31,505千円
					その他 （新規事業、 特殊要因等）	●市営八幡原体育館 11,525千円（事務室、トレーニング機器整備等） ●学校施設 256,730千円（公務用PCリース、スクールバス経費、全小学校スポットクーラー購入、一中プール・プール管理棟解体等の増） ●花沢町住宅 10,573千円（解体等の増）

※⁵ 企業会計（上下水道、病院）施設は除く

※⁶ コスト増減は平成25～27年度（平均値）との比較

※⁷ []は、廃止施設に係る効果額

※⁸ 指数は平成25～27年度（平均値）を100とした際の当該年度の値

※⁹ 概ね1,000万円以上の増減を記載

※¹⁰ 計画策定後に廃止、または新設された施設に係る増減

3 検証と今後のフォローアップについて

令和6年度は、上郷児童センターや市営住宅の解体などに伴い延床面積が令和5年度と比べて減少した一方で、維持管理コストについては、原材料価格の高騰や労務費の上昇等による委託料等の増加、施設の老朽化による修繕や解体の実施、大雪による除排雪経費の増加などに伴い、令和5年度と比べて7ポイント上昇、平成25～27年度の平均値と比べて30%増加した。

令和7年度は、南成中学校及び学校給食共同調理場の整備やコミュニティセンターの建替、旧米沢クリーンセンターの譲受により延床面積が増加し、基準年度を上回る見込みである。維持管理コストについては、令和6年度末に閉校した第五中学校や廃止した花沢町住宅に係るコストの減少が見込まれるものの、引き続き物価高騰や人件費の上昇が続くことが見込まれる。

令和7年度に拡充された、公共施設の統廃合による施設の解体費用に対する国の財政支援を活用できるよう、廃校施設解体の検討を早めていくとともに、令和8年度には公共施設等総合管理計画の見直しを予定していることから、フォローアップの結果、公共施設の状況及び財政状況を考慮し、見直し作業を進めていく。